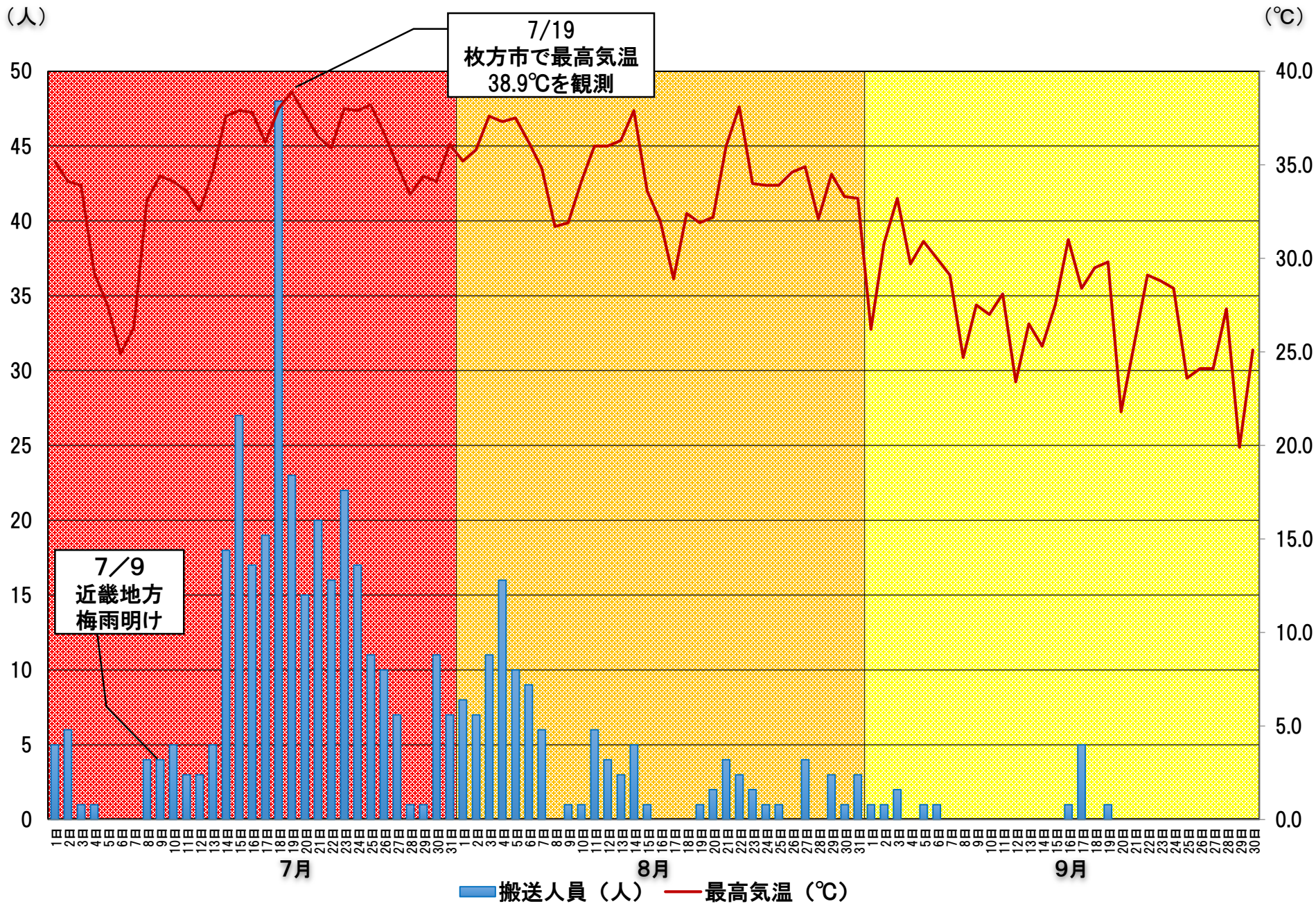
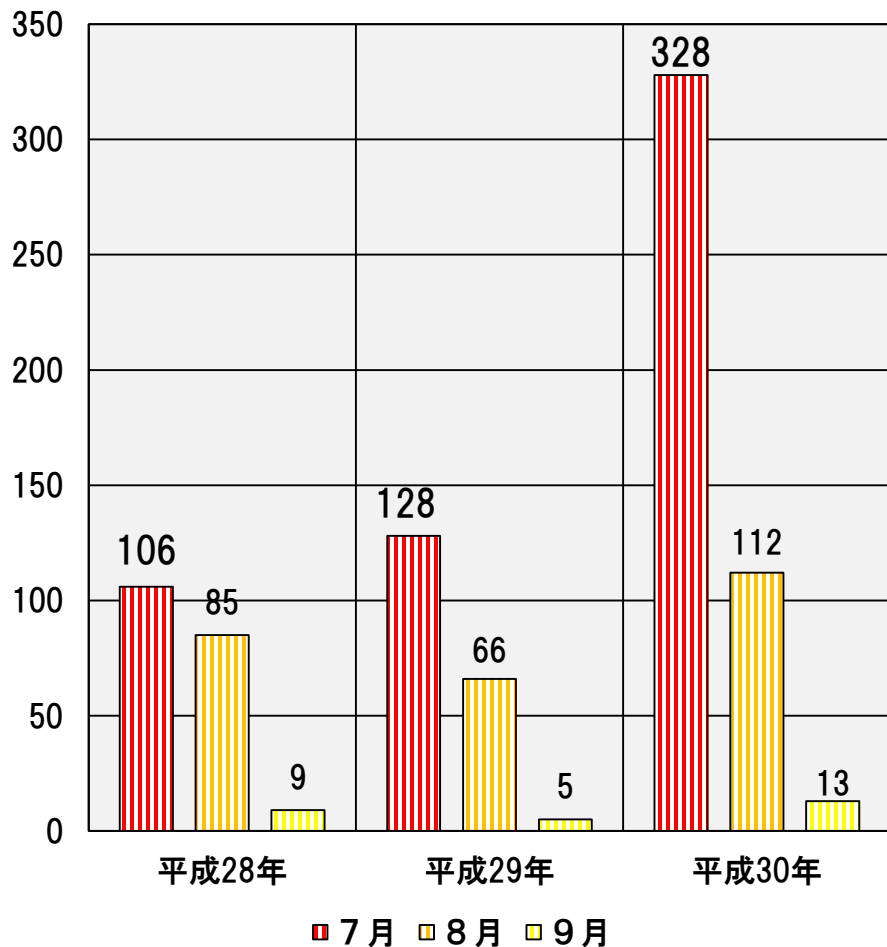


# 熱中症による救急搬送状況(最高気温との関係)

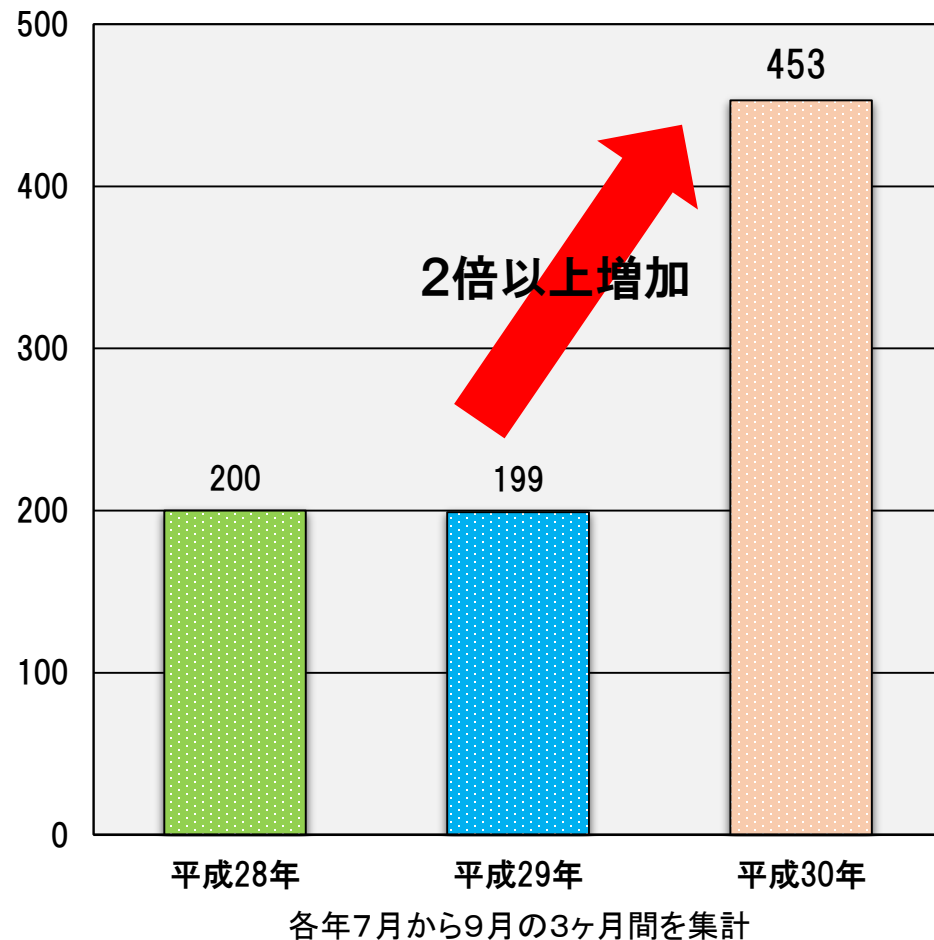


# 過去3年間の救急搬送人員(平成28年～平成30年)

(人) 過去3年の救急搬送人員(月別)

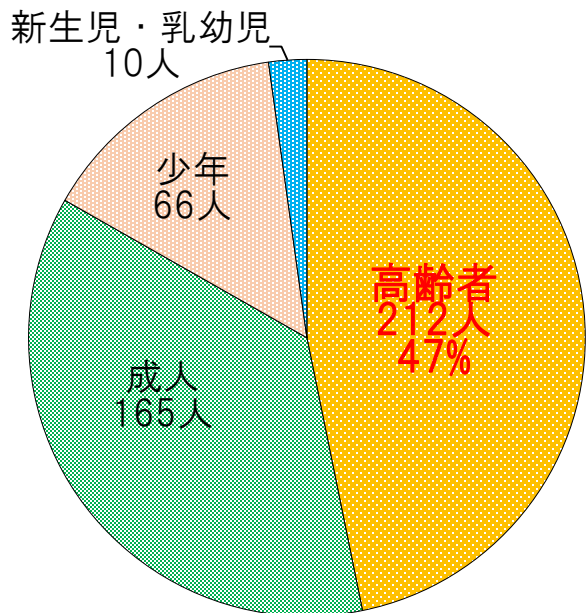


(人) 過去3年間の救急搬送人員の推移

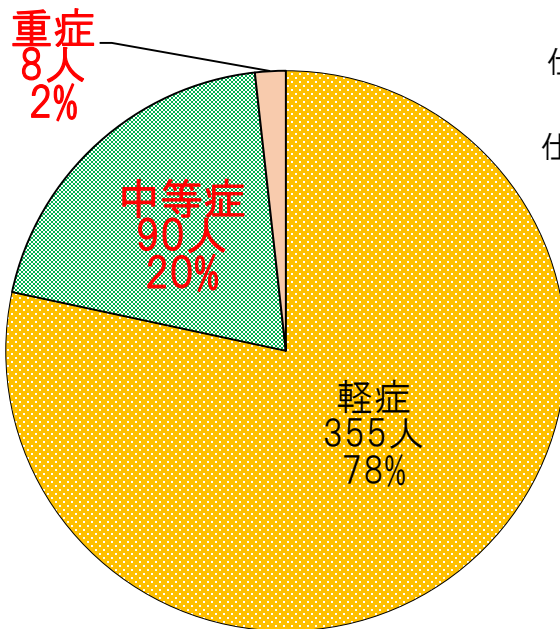


# 平成30年中の救急搬送状況(年齢別・症度別・発生場所別)

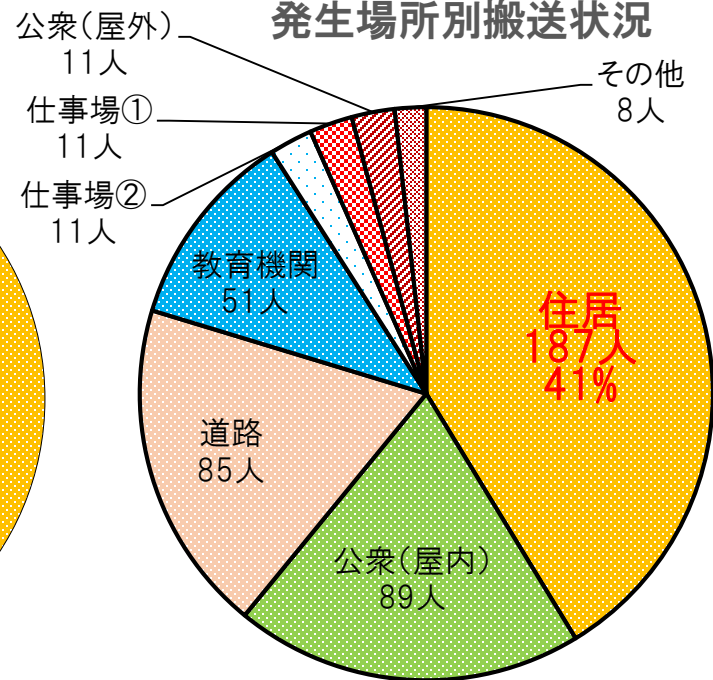
## 年代別搬送状況



## 症度別搬送状況



## 発生場所別搬送状況



公衆(屋内): 診療所、店舗、駅構内など  
 公衆(屋外): 堤防、河川敷、公園、広場など  
 仕事場①: 屋外の作業所、工事現場など  
 仕事場②: 工場、屋内作業所など

## 救急搬送状況の分析

- 平成30年7月1日から9月30日までの熱中症(熱中症疑いを含む。)による救急搬送人員は**453人**で、前年の同期間の搬送人員**199人**と比較して**254人増加**しています。
- **年代別**では、**高齢者(65歳以上)**が**212人**で全体の救急搬送人員の**約半数(約47%)**を占めています。
- **症度別**では、**軽症**が**355人**で全体の救急搬送人員の**78%**を占めています。一方で、入院の必要がある**中等症**と**重症**が**98人**で、全体の救急搬送人員の**約22%**を占めています。
- **発生場所別**では、**住居**が最も多く**約41%**となっています。